

令和4年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正明

令和3年度 赤穂市立民俗資料館の事業報告について

赤穂市立民俗資料館指定管理者管理運営基準に基づき、令和3年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



民俗資料館(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 開館日数 291日

		常設展		
区分	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個人	大人 100	993	99,300	
	小中学生 50	8	400	
団体 30人以上	大人 80	342	27,360	
	小中学生 40	10	400	
団体 100人以上	大人 60			
	小中学生 30			
減 個人 50%	大人 50	629	31,450	
	小中学生 25			
減 団体 30人以上50%	大人 40			
	小中学生 20			
減 団体 100人以上50%	大人 30			
	小中学生 15			
100%	大人	802		
	小中学生	747		
特別利用券利用者	大人	2		
	小中学生			
赤穂観光パスポート	通りやんせ	41	(@60×82) 4,920	
合計	大人	2,809	163,030	
	小中学生	765	800	
	計	3,574	163,830	

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/25～5/11まで臨時休館。)

特別展、企画展等の開催

民俗資料館

企画イベント

期 間 令和3年4月4日(日)
名 称 第29回サロンコンサート「花びらに寄する思い」
内 容 小川真澄(歌唱)と尾上克彦(ギター)によるサロンコンサート
参加者は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限
入館者数 68人

収蔵品展

期 間 令和3年4月26日(月)～5月20日(木)
名 称 五月人形展
内 容 収蔵している五月人形と鯉のぼりを飾り付け、未来の夢ある子ども
の幸せを願うとともに、初夏の香りを感じてもらおうと実施
入館者数 36人

企画イベント

期 間 令和3年6月26日(土)
名 称 「朗読と音楽で楽しむ」～赤穂の民話～
内 容 赤穂にまつわる昔話の朗読と音楽をコラボさせた企画
参加者は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限
入館者数 37人

企画展

期 間 令和3年7月3日(土)～7月29日(木)
名 称 「地域とふれあう!!」～笑顔になろうSAKOSHI～
内 容 主に坂越在住の主婦の方のグループが作った押し花やガラスア
ート、トールペイント、手芸などを展示
入館者数 354人

企画イベント

期 間 令和3年7月31日(土)
名 称 キャンドル作りにチャレンジ!
内 容 歴史ある当館でキャンドル作りに親子や子供が挑戦
参加者は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限
入館者数 38人

企画展

期 間 令和3年8月8日(日)～9月13日(月)

名 称 「おうち時間を楽しもうⅡ」
～小さなクラフト体験・トールペイント作品展～
内 容 コロナの影響で「おうち時間」が長くなっている人が多いので、子どもたちでも作れるような数種類のクラフト体験ができたり、作品を見たりできるような企画
入館者数 310人

企画イベント

期 間 令和3年9月23日(木・祝)・9月25日(土)
名 称 オータムコンサート2021
内 容 「リコーダーの会・あんだんて」によるリコーダーコンサート
「はたけの家」によるバンドコンサート
参加者は、両日とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限
入館者数 58人

企画展

期 間 令和3年10月2日(土)～10月31日(日)
名 称 命ふたたび「古民具再生作品展」
内 容 どの家庭でも昔使っていた木製の生活道具(古民具)に新たな命を吹き込み、生まれ変わった木工芸品を展示
入館者数 768人

企画展

期 間 令和3年11月15日(月)～12月5日(日)
名 称 坂本武・辰巳柳太郎 ～赤穂生まれの名優二人展～
内 容 赤穂市坂越生まれの二人の映画ポスターやVTRパッケージ・スナップ写真・台本などを展示して二人の業績を紹介
入館者数 247人

企画イベント

期 間 令和3年12月19日(日)・12月25日(土)
名 称 クリスマスコンサート 2021
内 容 「AKOハニーハーモニー」によるハーモニカコンサート
「はたけの家」によるバンドコンサート
参加者は、両日とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限
入館者数 62人

収蔵品展

期 間 令和4年1月8日(土)～1月28日(金)
名 称 お正月の民具展
内 容 収蔵品の中から、破魔弓や羽子板やお正月の遊び道具を展示
入館者数 256人

収蔵品展

期 間 令和4年2月5日(土)～3月18日(金)
名 称 お雛さま展
内 容 江戸時代のお雛さまや昭和初期の御殿雛、七段飾り雛や木目込み雛を展示
入館者数 338人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

第9回ハーモニカコンサート

赤穂市立民俗資料館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
民俗資料館管理収入	9,680,000	9,386,998	293,002	民俗資料館管理収入
施設利用料収入	291,000	163,830	127,170	施設利用料収入
合 計	9,971,000	9,550,828	420,172	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	3,388,000	3,387,064	936	職員給1人
臨時雇賃金支出	3,457,000	3,436,592	20,408	臨時職員賃金パート4人(交替勤務)外
福利厚生費支出	654,000	575,272	78,728	社会保険料外
小 計	7,499,000	7,398,928	100,072	
物件費				
消耗品費支出	193,000	178,452	14,548	企画展消耗品外
燃料費支出	15,000	11,741	3,259	ガソリン代
会議費支出	46,000	22,689	23,311	企画演出演者賄外
印刷製本費支出	98,000	91,915	6,085	入館券印刷外
光熱水費支出	928,000	752,983	175,017	電気代外
修繕費支出	50,000	49,300	700	トイレ掃除用水栓修繕外
通信運搬費支出	89,000	82,271	6,729	電話料外
保険料支出	46,000	45,750	250	自動車損害保険料外
委託料支出	442,000	441,806	194	警備委託外
使用料賃借料支出	504,000	414,993	89,007	車両賃借料外
諸謝金支出	50,000	50,000	0	出演謝礼外
負担金支出	10,000	10,000	0	県博物館協会負担金
雑費支出	1,000	0	1,000	
小 計	2,472,000	2,151,900	320,100	
合 計	9,971,000	9,550,828	420,172	

令和3年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立民俗資料館					
所在地		赤穂市加里屋805-2					
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日	
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日	
選定方法		公募・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目		
施設設置目的		・郷土の民俗に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため、当館を設置する。					
主な実施事業		<small>(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料(以下「資料館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 資料館資料に関する調査研究を行うこと。 (3) 資料館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 他の資料館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業</small>					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3	目標	R4	目標	R5
a	利用者数	人	6,000	3,574	6,000		6,000	
b	稼働率	%		60				
c	受講者数							
d	参加者数							
e								

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度予算	
収入計		A	9,550,828	9,850,000	9,987,000
指定管理料			9,386,998	9,560,000	9,680,000
利用料収入		C	163,830	290,000	307,000
自主事業収入			—	—	—
その他			—	—	—
支出計		B	9,550,828	9,850,000	9,987,000
事業費			9,550,828	9,850,000	9,987,000
内、人件費		D	7,398,928	7,412,000	7,499,000
内、再委託料		E	441,806	443,000	442,000
自主事業費			—	—	—
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	2 %	3 %	3 %
人件費率		D/B	77 %	75 %	75 %
再委託費比率		E/B	5 %	4 %	4 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	A	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	A	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	B	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 昨年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大予防の影響を大きく受けた年度であった。今年度は、中止や延期したイベント等はなかったが、コンサートは全てコロナウイルス感染拡大予防のため上限30人と制限した。また、市内及び市外からの入館者も減り、コロナの感染拡大が大きく影響しているの言うまでもない。コロナの収束が1番の解決策だが、当館としても今まで以上に来館者にとって魅力のある事業を開催できるよう考えていきたい。		
	【所管評価】 県指定の重要文化財である館の適切な施設管理に努めている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、企画・イベントを実施し来館者増に向けた取り組みを行っている。 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが考えられるが、適切な施設管理に努め、利用者の安全確保に努めながら、来館者の増加に向けた取り組みを続けられたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。